

第132期(第2四半期)

株主通信

2011年4月1日～2011年9月30日



CONTENTS

1 株主の皆さまへ

2 業績の概況

3 トピックス

ICTで新たな事業領域の拡大へ
学びのプラットフォーム「自己ガク」

グループ力の強化に向けて
子会社2社の新体制スタート

5 営業の概況

9 第2四半期 連結財務諸表の概要

10 業績の推移(連結)

11 株式の状況

13 会社概要

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当第2四半期(累計)の事業概況をご報告申し上げます。

近年、情報技術の発達によりメディアが多様化し、デジタル媒体の普及が急速に進んでいます。情報媒体としての印刷物は需要縮小が続く、印刷業界は厳しい経営環境にあります。こうしたなか、共同印刷グループは中期経営方針「事業領域の拡大により売上拡大を実現する」に基づき、「印刷」を核に事業領域を拡大し、縮小する市場における売上拡大と利益の確保を追求しています。当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は前年同期を下回りましたが、コストダウン施策の推進により利益は上回り、減収増益となりました。

今後も積極的な提案活動や新規開拓によって受注量拡大に努め、生産体制の最適化によって利益の確保を図ってまいります。さらに、独自技術による新製品の拡販や、印刷とサービスの融合による新事業の創出に取り組みます。なかでも、産業資材分野の高機能材料は事業の重要な柱に育ちつつあり、今後は国内だけでなく海外にも販路を広げてまいります。

共同印刷グループは持てる力を最大限に発揮し、お客さまのお役に立つ製品やサービスを継続的に開発、提供することで事業領域の拡大を進め、企業価値の向上をめざしてまいります。株主の皆さまにおかれましては一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年12月

代表取締役社長

稲本 歳明

業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、2011年3月に発生した東日本大震災の影響から緩やかに回復しているものの、原発事故に伴う電力不足や円高進行の影響を受け、先行き不透明な状況で推移しました。印刷業界においては、メディアの多様化に加え個人消費の低迷から市場が縮小し、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当グループは中期経営方針、事業領域の拡大により売上拡大を実現する、に基づき、独自技術による新製品や印刷とITの融合による新サービスの拡販を推進し、事業領域の拡大を図りました。既存製品では当グループが強みを持つ品目の受注量確保と生

産効率向上に努め、グループ一丸となって収益拡大に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、生活・産業資材部門が増加したものの、ビジネスメディア部門と出版商印部門が減少し、466億7百万円(前年同期比1.1%減)となりました。営業利益は人件費削減や外注加工費などの削減により6億4千1百万円(前年同期は営業損失11億4百万円)、経常利益は10億7千6百万円(前年同期は経常損失7億1千3百万円)となりました。特別損益は、1億9千7百万円の損失となりました。以上の結果、四半期純利益は4億7千8百万円(前年同期は四半期純損失6億1千5百万円)となりました。

	2010年4月 1 日から 2010年9月30日まで	2011年4月 1 日から 2011年9月30日まで	単位: 百万円
	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計	増減率
売上高	47,126	46,607	▲1.1%
営業利益	▲1,104	641	－
経常利益	▲713	1,076	－
四半期純利益	▲615	478	－

トピックス

ICT※で新たな事業領域の拡大へ 学びのプラットフォーム「自己ガク™」

2011年4月、「学び」をテーマにした電子書店「自己ガク」を正式にオープンしました。

ICTを核にしたサービスを社会に提供することで、新たな事業領域の拡大に取り組んでいます。

「自己ガク」は、自己啓発や資格取得などの「学び」をテーマに、医療・看護、ビジネス、法律、資格などの分野に特化した専門電子書店です。電子書籍の販売だけでなく、関連したセミナーや資格試験の情報を紹介するほか、主催者サイトとリンクして簡単にセミナーの申し込みができるサービスも提供しています。

便利さ&見やすさを追求 自社開発のビューアー搭載

本サイトには、当社が開発した多機能ビューアーを搭載しています。利用者の「学び」を支援する機能を備え、スムーズなページ送りや検索機能のほか、付せんや暗記マーカーなど、学習に役立つツールも多数備えています。



また、印刷会社としての品質保証へのこだわりから、ビューアーには画面を拡大しても表示品質を保持し、小さな文字でも読みやすい工夫を施しています。

Android™対応のタブレット へ展開

2011年秋、米グーグル社の基本ソフトである「Android（アンドロイド）」を搭載した端末への対応が始まりました（一部機種）。購入した電子書籍はパソコンとAndroid端末のどちらでも読むことができ、“いつでもどこでも”読者の生活スタイルに合わせて学ぶことができます。



Android対応端末への展開により、読者と電子書籍との接点が拡大しました。「自己ガク」を新たなコンテンツ販売と新サービス提供の場として活用し、新事業の拡大をめざします。

※ICT: Information and Communication Technology (情報通信技術を表す)

自己gaku の特長

➤ <http://jikogaku.jp/>

1 5つの 専門カテゴリ

「医療・看護」「ビジネス」「法律」「趣味・教養」「資格・検定」の専門カテゴリに特化。読者のニーズに合わせて探したい本がスグに見つかります。

2 セミナーや 資格・検定の情報も

検索した書籍に関連した講演会やセミナー、資格・検定のスケジュールなど知りたい情報の入手もラクラク。

3 学習に適した 機能を満載

電子書籍を読むためのビューアーには、付せん・検索・暗記マーカーなど、学習をサポートする機能がいっぱい。

グループ力の強化に向けて

2011年10月1日、事業の一部を既存の子会社に承継する「会社分割」により、共同印刷グループの2社が新たな体制でスタートしました。

共同印刷西日本株式会社 営・製一体のグループ会社

共同印刷西日本株式会社は、当社の西日本事業本部と近畿共同印刷株式会社を統合した、営業部門と製造部門を併せ持つ、当グループ国内初の子会社です。

新会社では、これまで培ってきたデータプリント事業を主軸に、BPO業務受託サービス、システム開発、商業印刷など多岐にわたる事業を展開します。製造部門の京都工場は、プライバシーマークとISMS*の2つの規格の認定・認証を受け、埼玉県にある当社川島工場と相互にバックアップ体制をとることで災害発生時のリスク回避に対応できる体制を整えています。西日本エリアでは最高水準の情報セキュリティ体制を強みに、事業拡大を図ります。

※ISMS (Information Security Management System): 企業などの組織が、情報の流出や紛失を防ぎ、適切に管理して機密を守るための仕組み



共同印刷西日本株式会社
京都工場

会社概要

商号	共同印刷西日本株式会社
代表者	岡田 正明
本社	大阪府大阪市中央区平野町2-1-2 沢の鶴ビル
資本金	2億円
社員数	174名(臨時員含む)

共同印刷ビジネスソリューションズ株式会社 グループのシステムセンター

共同印刷ビジネスソリューションズ株式会社(以下BSS)は、IT関連事業拡大を図るため、2004年6月に、当社の100%出資子会社として誕生しました。

今回の会社分割では、当社における社内データ処理業務をBSSへ承継し、当グループ全体のIT関連事業を担います。

業務は、システム開発を主軸に、事務局運営からコールセンター・IT関連機器販売にいたる、総合的なソリューションの提供です。今後は、本事業の承継で得た「企業の根幹システム運営のノウハウ」を活用し、一般企業向けの一括アウトソーサーとしての機能構築を進め、事業拡大をめざします。

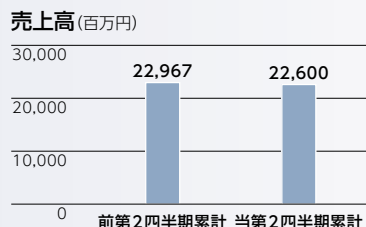
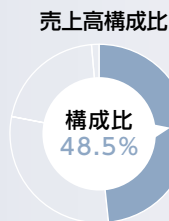
会社概要

商号	共同印刷ビジネスソリューションズ株式会社
代表者	今成 直己
本社	東京都文京区小石川4-14-12 共同印刷株式会社内
資本金	6千万円
社員数	96名(臨時員含む)

営業の概況

出版商印部門

- 定期刊行物
- 書籍
- 一般商業印刷
- 電子書籍など



連結売上高
226億円

前年同期比
1.6%減

出版印刷では、コンテンツのデジタル化サポートや小ロット物件の受注拡大に取り組むとともに、付録など加工物に対する提案を積極的に行いました。しかし、出版市場の需要縮小によりコミックス、単行本が減少し、定期刊行物についても部数減やページ減により減少したため、全体で前年を下回りました。

一般商業印刷では、得意先のセールスプロモーションの課題解決に向けて、クロスメディアソリューションの提案や企画制作から発送作業までのトータル提案を行い、受注拡大に努めました。この結果、情報誌は減少しましたが、キャンペーン事務局の業務受託やカタログ、DM、パンフレット、POPの増加により前年を上回りました。

以上の結果、部門全体では前年同期を下回りました。

今後、出版印刷においては、引き続きまんがを重点品目として取り組み、当社のまんが製作システム「Comic Packer®」を活用したまんがのマルチメディア展開の推進や、電子コミック販売サイト「ソク読み」を武器とした新規開拓に努めます。



出版印刷

また2011年4月にオープンした、学びをテーマとする電子書店「自己ガク™」を充実させ、拡大する電子書籍市場で特色あるサービスを提供いたします。

一般商業印刷では、紙媒体とWebをリンクさせるスマートフォン対応画像認識エンジン「ぱとりしあ®」を核に、クロスメディアソリューションの提案を行ってまいります。



一般商業印刷(カタログ・情報誌など)

TOPICS

スマートフォンビジネス

高速画像認識エンジン「ぱとりしあ®2G」の開発

ぱとりしあ®2Gは、スマートフォンやモバイルのカメラを画像にかざすだけで、対応するコンテンツやアクションを素早く呼び出すことができる、当社開発の画像認識エンジンです。

スマートフォンのアプリに組み込むことで、印刷画像から多彩なアクションを促す「引き金」ツールとして、販促キャンペーンや商品カタログなどさまざまな用途に利用できます。2011年11月中旬に、Android™対応を開始しました。

詳細はWebサイトをご覧ください。

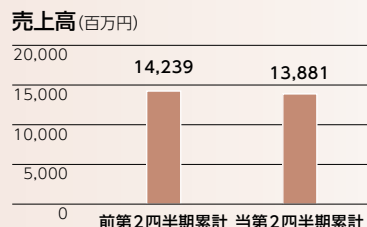
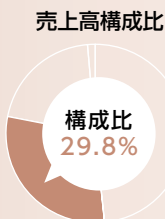
<http://www.kyodoprinting.co.jp/patricia/index.html>

ぱとりしあ



ビジネスメディア部門

- ビジネスフォーム
- データプリント
- BPO※業務
- 通帳・証券類
- 各種カードなど



連結売上高
138億8千1百万円
前年同期比
2.5%減

ビジネスメディア部門では、既存得意先の掘り起こしと新規開拓に努め、印刷製品の受注拡大を図るとともに、官公庁や金融機関を中心にデータ処理と各種業務の受託拡大に取り組みました。

カードでは交通分野向けICカードが増加し、ビジネスフォームも微増となりました。証券では抽せん券は減少したものの通帳が増加し、前年を上回りました。しかしながら、金融機関などのパンフレットや冊子類の受注が前年を大きく下回りました。

以上の結果、部門全体では前年同期を下回りました。

データプリント市場は、帳票類のWeb化による需要縮小や競争激化による単価下落により、減少が続いています。当社では、データプリントと周辺業務を一括して受託するBPO業務の受注拡大に取り組んでいます。官公庁や地方自治体、金融業界などの各種通知書発行業務や請求書発行業務などの受託拡大に努め、お客さまの情報処理センターとなることをめざしてまいります。

※BPO: Business Process Outsourcingの略。
お客さまの負担となっている業務を請け負う事業



ビジネスフォーム・証券・ICカードなど

TOPICS 触覚識別可能なカード発行サービス

「TIM加工サービス」開始

2011年8月、国際規格ISO/IEC 7811-9*1に則った「TIM*2加工サービス」による、指の感触で識別可能なカード発行サービスを開始しました。

TIMとは、最大18個の凸点を用いて、カード利用者自身が識別できるマークをカード上に形成するものです。カード利用者は、カードに刻印されたTIMの形や位置に触れることで、複数のカードから目的のカードを識別したり、ATM機器などへの挿入方向を確認したりできます。

本サービスは、第1弾として株式会社長野銀行様に採用いただきました。2011年9月1日より、申し込み時に希望された方へ、TIMを有したキャッシュカードが発行されています。

※1 ISO/IEC 7811-9: 日本からの提案により、2008年6月1日に国際規格化されたTIMによるカード識別方法の仕様。最大18個の凸点を使って本人が識別可能なマークを表現する。

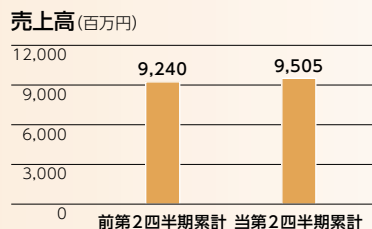
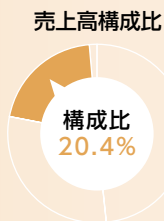
※2 TIM: Tactile Identifier Mark (触覚識別マーク)



右下の凸点がTIM

生活・産業資材部門

- 紙器
- 軟包装
- チューブ
- 建材
- 金属印刷
- 高機能材料など



連結売上高
95億5百万円
前年同期比
2.9%増

生活・産業資材部門では、展示会出展などにより高付加価値製品の拡販に取り組むとともに、重点品目のシェア拡大をめざして、既存得意先への積極的な提案と新規得意先の開拓に努めました。

紙器はラップカートン、食品カートンが減少し、建材製品も減少しました。チューブは歯磨き用、化粧品用を中心にラミネートチューブが好調に推移し、アルミチューブも増加しました。軟包装はラーメン向けや医薬品向けが増加し、金属印刷も増加しました。

以上の結果、部門全体では前年同期を上回りました。

当部門では、当社が強みを持つ品目に集中した取り組みを行っています。現在国内で高いシェアを持つ歯磨き用チューブでは、生産設備の増強を行い、さらなる増産に対応できるよう体制を整えています。なめらかなグラデーション表現や箔押しが可能な「オーバルラミネートチューブ」は装飾性に高い評価をいただいております。今後、化粧品業界を中心に拡販に努めます。

また、カップ麺などに利用されている湯きりフタ材の「パーシャルオープン」や、医薬品業界や電子部品業界に対して拡販中の高機能材料「モイストキャッチ®」「オキシキャッチ®」は、海外からの引き合いも増えています。今後も国内外に積極的に販売してまいります。



鏡面性を追求した高級鏡面化粧板「ミロワール®」



紙器・軟包装・チューブ・金属印刷など



オーバルラミネートチューブ



湿気やアウトガスを除去する吸着・吸湿機能材料「モイストキャッチ®」

TOPICS 食品向け高機能カップ「パルモールカップ™」採用

2011年8月、サンヨー食品株式会社の「サッポロ一番 ディズニーキャラクター CUP FAN!!」シリーズとしてパンスープ3種が発売され、その容器に当社「パルモールカップ™」が採用されました。

本カップは、当社と豊田通商株式会社の共同事業により確立した、バージンパルプ素材を一体成形した高機能カップです。バリア性と断熱性、成形精度に優れ、自由な成形や凹凸加工が施せるほか、リサイクルも容易な環境配慮型の容器です。

現在、スープや即席麺のほか、デザートなどを取り扱う食品メーカーへ積極的に提案し、拡販に努めています。



TOPICS 医薬・産業資材、高級建装材 中国市場へアピール

経済成長が続く中国市場を魅力あるものと捉え、中国開催のイベントへ積極的に出展しました。2011年7月の「APPP EXPO 2011」(中国上海国際広告・印刷・包装・製紙産業総合展)では、当社の医薬品向けパッケージや独自開発の高機能フィルムを、さらに同年8月の「2011中国上海国際建築建材産業総合展」では、キッチンや収納家具向け高級建装材などをアピールしました。

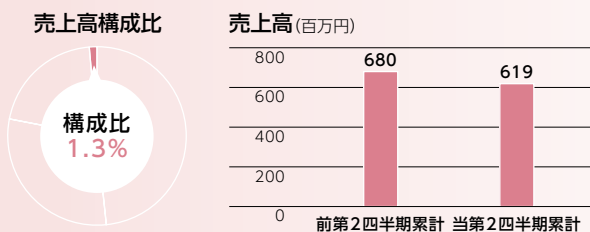
今後は、医薬・産業資材における当社の生産力および技術力と日本品質を武器に、中国や近隣諸国へ向けた積極的な販促活動を進め、新市場の開拓をめざします。



「2011 中国上海国際建築建材産業総合展」
鏡面仕上げの「ミロワール®」と、天然木を
表現した「ネオラン®」を出展

その他

- 不動産管理
- 物流業務など



連結売上高
6億1千9百万円
前年同期比
8.9%減

連結子会社における物流業務、保険取扱業務、不動産管理などが主な内容です。物流業務は増加しましたがその他が減少し、部門全体では前年同期を下回りました。



共同物流株式会社 越生保管センター

第2四半期 連結財務諸表の概要

単位:百万円
(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結貸借対照表

	2011年3月31日	2011年9月30日
	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間
資産の部		
流動資産	47,362	47,332
固定資産	50,967	49,750
有形固定資産	39,951	39,067
無形固定資産	1,002	1,013
投資その他の資産	10,014	9,669
資産合計	98,330	97,083
負債の部		
流動負債	35,379	35,239
固定負債	15,325	14,351
負債合計	50,704	49,591
純資産の部		
株主資本	47,088	47,206
資本金	4,510	4,510
資本剰余金	1,742	1,742
利益剰余金	40,879	40,997
自己株式	△ 44	△ 44
その他の包括利益累計額	537	284
その他有価証券評価差額金	654	387
為替換算調整勘定	△ 116	△ 102
純資産合計	47,626	47,491
負債純資産合計	98,330	97,083

●連結キャッシュ・フロー計算書

	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2011年4月1日から 2011年9月30日まで
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,325	4,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,633	△ 2,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 995	△ 583
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 11	15
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,315	1,568
現金及び現金同等物の期首残高	12,900	12,256
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,584	13,824

●連結損益計算書

	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2011年4月1日から 2011年9月30日まで
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
売上高	47,126	46,607
売上原価	41,306	39,411
売上総利益	5,820	7,196
販売費及び一般管理費	6,925	6,554
営業利益又は損失(△)	△ 1,104	641
営業外収益	617	639
営業外費用	226	203
経常利益又は損失(△)	△ 713	1,076
特別利益	129	1
特別損失	504	199
税金等調整前四半期 純利益又は純損失(△)	△ 1,087	879
法人税等合計	△ 459	400
少数株主損益調整前四半期 純利益又は純損失(△)	△ 627	478
少数株主損失(△)	△ 11	—
四半期純利益又は純損失(△)	△ 615	478

●連結包括利益計算書

	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2011年4月1日から 2011年9月30日まで
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
少数株主損益調整前四半期 純利益又は純損失(△)	△ 627	478
その他の包括利益	△ 457	△ 252
その他有価証券評価差額金	△ 506	△ 267
為替換算調整勘定	△ 19	13
持分法適用会社に対する持分相当額	69	0
四半期包括利益	△ 1,084	225

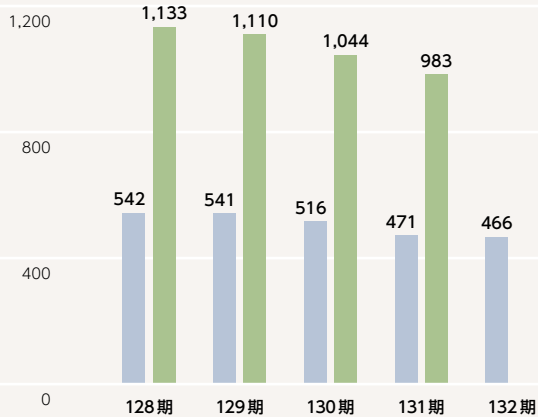
1株当たり株主配当金(中間期)4円(年間8円予定)

中間配当金につきましては、1株につき4円とし、
年間では8円の配当を予定しています。

業績の推移(連結)

売上高

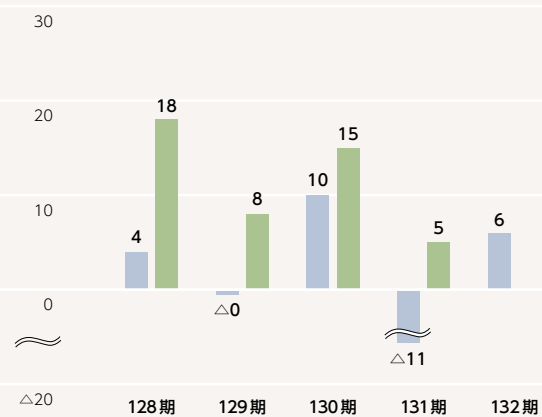
(億円)



■ 第2四半期 ■ 通期

営業利益

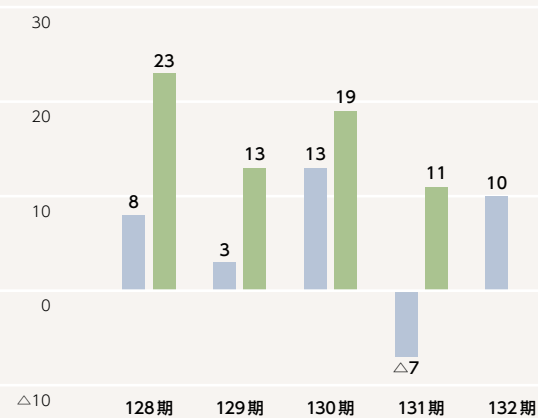
(億円)



■ 第2四半期 ■ 通期

経常利益

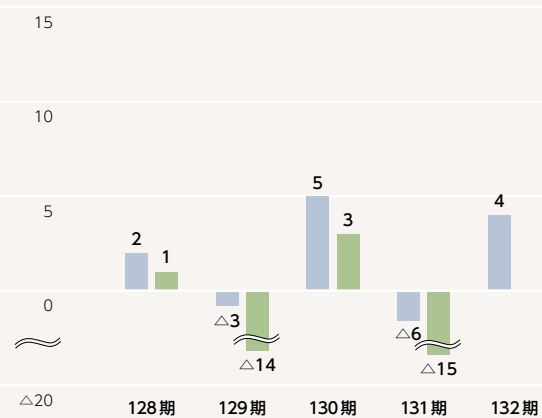
(億円)



■ 第2四半期 ■ 通期

当期純利益

(億円)

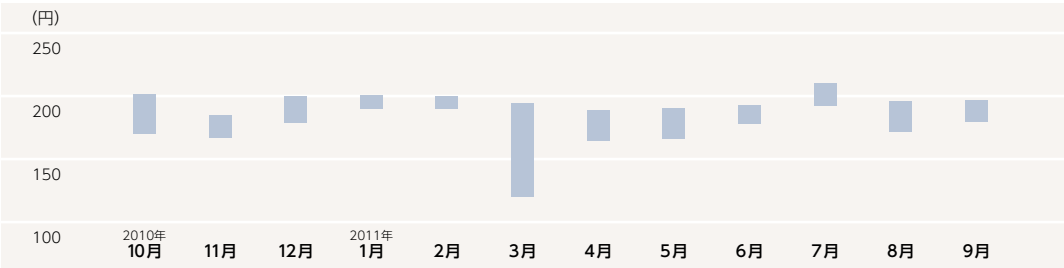


■ 第2四半期 ■ 通期

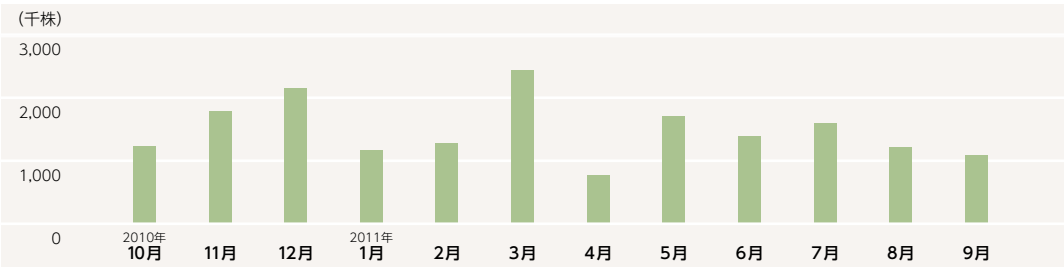
株式の状況 (2011年9月30日現在)

● 株価および売買高の推移 (東京証券取引所)

株価の推移 (終値ベースの高低)



売買高の推移



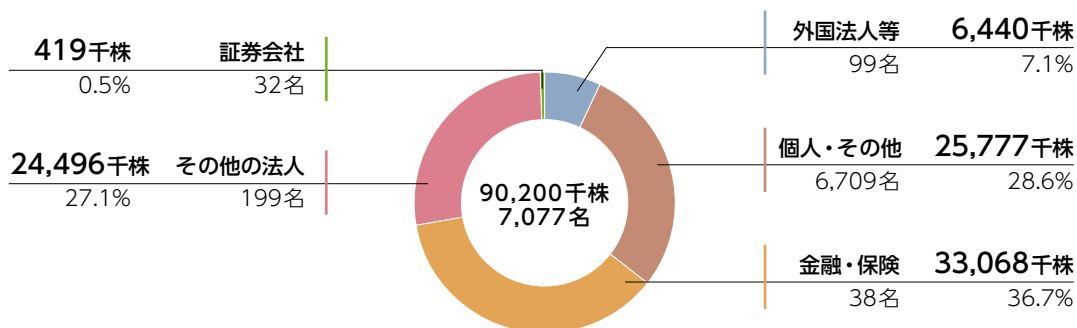
● 大株主の状況

氏名または名称	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	12,377	13.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・DIC株式会社口)	8,541	9.47
東京インキ株式会社	5,830	6.46
株式会社みずほ銀行	2,831	3.14
朝日生命保険相互会社	2,500	2.77
東洋インキSCホールディングス株式会社	2,169	2.41
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,964	2.18
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	1,958	2.17
共同印刷 従業員持株会	1,684	1.87
中央三井信託銀行株式会社	1,482	1.64
計	41,337	45.83

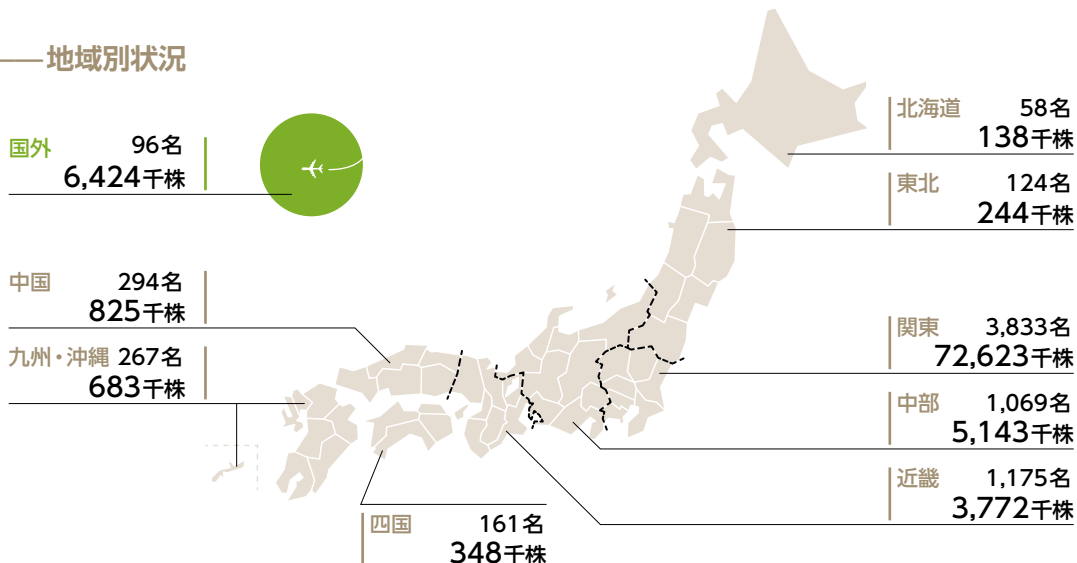
●株式の状況

発行可能株式総数	360,800,000株
発行済株式総数	90,200,000株
単元株式数	1,000株
株主数	7,077名

●株式分布状況——所有者別状況(株式数比率)



●株式分布状況——地域別状況



会社概要 (2011年10月1日現在)

会社商号 共同印刷株式会社 (Kyodo Printing Co., Ltd.)
創業年月日 1897(明治30)年 6月25日
設立年月日 1925(大正14)年12月26日
資本金 45億1千万円
本社 〒112-8501
東京都文京区小石川4-14-12
Tel. 03-3817-2071 (CSR本部コーポレートコミュニケーション部)
社員数 連結 2,723名
(臨時員含まず) 単体 1,936名
2011年9月30日現在)

●役員紹介

取締役

代表取締役社長	稲木 歳明	経営管理本部担当
専務取締役	赤坂 洋輔	グループ事業統轄、出版商印事業本部長、施設環境部担当
専務取締役	藤森 康彰	技術統括本部・IT統括本部・IC事業推進本部・法務部・経理部担当
常務取締役	三吉 幹夫	グループ生産統轄、ビジネスメディア事業部・交通媒体事業部担当
常務取締役	小笠原 誠	CSR本部長、監査部・資材部・人事部担当
常務取締役	松山 雅俊	L&I事業部担当
取締役	半田 正章	交通媒体事業部長
取締役	清水 市司	L&I事業部長
取締役	井戸 一喜	経営管理本部長
取締役	大澤 春雄	出版商印プロモーション推進本部長・SP&ソリューション事業部長
取締役	大久保隆司	ビジネスメディア事業部長
取締役	齋藤 文孝	技術統括本部長
取締役	今村 敏夫	IT統括本部長
取締役	人見 実	出版情報事業部長
取締役	梶山 正義	プロモーションメディア事業部長
取締役	渡邊 秀典	経理部長

監査役

常勤監査役	谷 公明	
常勤監査役	朝比奈治美	
監査役	小澤 優一	弁護士
監査役	公文 敬	

共同印刷グループネットワーク

出版商印部門

小石川工場
出版印刷・一般商業印刷



五霞工場
出版印刷・一般商業印刷



越谷工場(共同オフセット(株))
出版印刷・一般商業印刷



●子会社
(株)コスモグラフィック
東京都文京区／プリプレス

小石川プロセス(株)
東京都文京区／プリプレス

共同オフセット(株)
埼玉県越谷市／印刷・製本

共同印刷製本(株)
茨城県五霞町／製本

ビジネスメディア部門

鶴ヶ島工場

カード・証券類・ビジネスフォームなど



川島工場

データプリント、BPOサービス、ビジネスフォームなど



京都工場 (共同印刷西日本(株))

データプリント、カードなど



●子会社

共同印刷西日本(株)

大阪府大阪市／印刷

生活・産業資材部門

小田原工場

ラミネートチューブ



和歌山工場

ラミネートチューブ



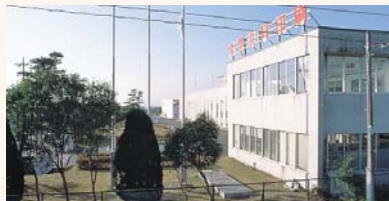
守谷工場

紙器、軟包装材、医薬・産業資材など



磯原工場 (常磐共同印刷(株))

建材、切符地紋類、紙器など



●子会社

常磐共同印刷(株)

茨城県北茨城市／印刷

その他

●子会社

共同物流(株)

東京都文京区／
梱包・輸送・保管

共同総業(株)

東京都文京区／
不動産賃貸および管理・
損害保険等代理業

共同印刷ビジネス

ソリューションズ(株)

東京都文京区／
システム開発・運営、
ソリューションビジネス

(株)日本書籍新社

東京都文京区／出版

●関連会社

千葉共同印刷(株)

千葉県千葉市／
一般商業印刷・データプリント・
ビジネスフォーム

共同製本(株)

東京都文京区／製本

デジタルカタパルト(株)

東京都千代田区／
デジタルコンテンツの制作・
編集および販売

株式のご案内

決算期 3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要あるときは予め公告する日
公告方法 電子公告
ただし電子公告による公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載して行います。
公告およびIR情報等を掲載するWebサイトアドレス
<http://www.kyodoprinting.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
郵便物郵送先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話0120-78-2031(フリーダイヤル)
取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならび
に日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行って
います。

お知らせ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。

以上